

# 地域から食を変えていく 「食育推進活動」にあなたも参加を

**多様な食育活動への支援** 提唱 農林水産省  
主催 事務局 農山漁村文化協会  
2004年度募集集中  
11月15日締切り

**地域に根ざした食育コンクール**  
2005年1月15日～16日  
第2回食育総合展

## 食育実証研究助成 2004年度助成対象決定

「食育基本法」制定の動きもあり、国民運動としての「食育活動」の推進が、どの地域でも大きなテーマになってきています。農文協は、食育推進活動の全国事務局として、「食育コンクール」「食育フェア」「食育実証研究助成」などの主催事務局となり、また長年積み上げてきた食育のための「基礎情報源」の提供者として、食育実践者の支援役を務めさせていただいております。

## 改めて「食育活動」の力点とは？

いまは「子どもの食育は、大人の食育でもある時代」に根ざした、個性豊かな食

## 地域に根ざした食育コンクール

### 過去3年の最優秀賞(農林水産大臣賞)受賞事例

地域、学校、企業、団体、農林漁業等の現場で実践されている、地域に根ざした「食育」活動事例を全国から募集し、優良事例を顕彰

### 2003年度 最優秀賞(教育分野)

#### 子どもがつくる弁当の日

香川県綾歌郡綾南町立滝宮小学校



滝宮小の「弁当の日」には三つの原則がある。一つは、子どもたちが献立をつくって食材を買いに行き、自分で朝早く起きて調理をして、弁当箱に詰めて持ってくる。親たちは絶対に手伝わないこと。その日の給食はお休み。二つめの原則は、対象は「家庭科」の授業のある5年生と6年生のみ(1～4年生は給食あり)。三つめの原則は、4月から半年間の猶予を置いて、10月、11月、12月、1月、2月の年5回やること。

日常よく使用される食品を用いた簡単な調理など、弁当づくりの基本的なことは「家庭科」で教えるが、あとは実際に自分で弁当をつくらなければ、お昼ごはんが食べられない。こ

## 食育実証研究助成

### 2003年度の研究成果から

「食育実証研究助成」は、農林水産省が新たに開設した事業です。農文協が事務局となつて平成十五年六月に募集を開始し、53の応募の中から、選考委員会の審査を経て7研究課題が採用され、平成十六年三月に研究成果が報告されました。助成対象となる研究は、食育を効果的に実現できる

### 「自分で調理へ」やる気触発の工夫

「ミニママ・エッセンシャル料理」でお茶の水女子大学の研究で、付属の小・中・高校生と大学生に同じ料理をつく

### ちびっこ審査員によるお魚料理コンテスト

田市など各地に広がっている。(本紙6面参照)

2001年度 最優秀賞(農林漁業分野)  
お魚料理コンテスト  
山口県柳井市 柳井地区魚食普及推進協議会  
瀬戸内海に面した山口県柳井市を中心とした1市5町で構成する「柳井地区魚食普及推進協議会」の10年好み焼きなどは入賞しな

## 食の文化祭の開催

宮城県宮崎町商工会・食の文化祭実行委員会

仙台市から250キロはなれた、コンビニもない宮崎町(現在は合併して加美町)。6000人、1500世帯の町民に呼びかけて、ふだん食べている家庭料理を持ち寄り展示する「食の文化祭」。体育館のつばいに並ぶ「当たり前前の食」を囲んでわいわい語り、試食もする。

コンビニのない町は、コンビニの要らない町だ。二軒一軒に畑があつて、山があり川があり、春は山菜、秋にはきのこ、川からはアユやイワナ。旬の食材が食卓に並ぶ。こんなに豊

「最小限の基本料理」。高校生に、一人暮らしになったとき「自分で食べた、つくりたい」料理を投票させて、「肉じゃが」「オムライス」「ドライカレー」などを選び、これに「豚肉と野菜の炒め煮し煮」など先生方のおすすり簡単料理を加えて一品。

勉強優先で調理から遠ざかっているためのショックな結果を受けて、研究チームが「やる気を出させる調理」として考え出したのが「ミニママ・エッセンシャル料理」。言い換えれば、自分を選んだ食べたい料理を「これなら自分でもおいしくつくれる」と自信をもたせて、料理の基本が身につく効果的な手法です。



## 募集中 地域に根ざした食育コンクール2004

### 1 募集分野と活動例

- ①食生活改善分野：家庭や地域における食生活改善活動等
- ②教育分野：幼稚園・保育所・学校・その他教育関係者による食教育活動(生産・加工体験を通じた食育を含む)等
- ③食品産業分野：企業・団体等における食教育・食情報提供活動等
- ④農林漁業分野：農林漁業関係者による子ども消費者を対象にした食育活動等

### 2 応募方法

- 応募用紙に必要事項を記入の上、添付書類・写真同封のうえ下記事務局宛て送付。ホームページ上からの応募も可能。(注)農山漁村文化協会 提携事業センター内 地域に根ざした食育推進協議会

### 3 応募要切

平成16年11月15日(日)当日必着

### 4 表彰式

平成17年1月16日(日)会場「ニッポン食育フェア 第2回食育総合展」会場内東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3-5-1) 表彰・農林水産大臣賞1点、農林水産省消費・安全局長賞4点、地域に根ざした食育推進協議会長賞7点



「詳しくは「食文化活動」事業」は今年度(2004)37号で紹介。ほかに、今年度も実施していますが、ニッポン食育フェアとして「仮想」の選考も終わって今年度の研究助成対象7チームが研究中です。